

※黎明(れいめい)：明け方、夜明けの意

特集：認知症マフ

国立がん研究センター東病院との 遠隔アシスト手術実施

令和2年7月8日、当院と国立がん研究センター東病院（千葉県柏市）はがん医療の高度化を図るため、医療連携に関する協定を締結しました。「がん相談外来」の開設や、遠隔診療、病院間での人事交流も行っています。

令和4年12月上旬に第1例目となる遠隔アシストによる腹腔鏡下手術を実施しました。国内でも先駆的な取り組みです。

遠隔アシスト手術とは、当院で行う手術の映像を、東病院の専門医がリアルタイムで確認し、口頭やモニターへの図示で当院医師へアドバイスをしたり、手術中に双方向で議論したりしながら、より精密で安全性の高い手術を行う方法です。遠隔アシスト手術の実現で、地域の患者さんの医療の選択肢が増えるとともに、患者さんは遠方に行かなくても、当院でより専門的な手術を安心・安全に受けることができるため、身体的・精神的・経済的負担の軽減が期待されます。

遠隔アシスト手術の適用については、腹腔鏡下手術の適応となる大腸がん症例の中から担当医が判断して決定することになります。手術費用については、通常の手術と変わりありません。

現在の手術では、大腸がんを対象としていますが、今後はその他の疾患や他科への領域にも対象を拡大していきたいと考えています。



荘内病院ではモニターを通して国立がん研究センター東病院専門医の支援も受けながら手術を実施

国立がん研究センター東病院の専門医が画面を見ながら荘内病院の医師に口頭や図示で支援



* 腹腔鏡下手術：お腹に小さなカメラや電気メスなどを挿し込み、病変部の切除等をする手術。開腹手術に比べて身体的な負担が少ない。

特集

認知症マフをご紹介します

心も体もほっこり ニットで癒しのケアを

認知症マフって何？



「マフ」とは毛糸で編まれた筒状のニット小物で、もともとは防寒具でした。イギリスでは「twiddle muf」と呼ばれ、病院や高齢者施設で認知症高齢者ケアのために使われています。twiddleは「(手を)いじる」、mufは「筒状の防寒具」という意味。外側や内側には、手で触りたくなるようなボタンやリボン、毛糸で編まれた飾りやアクセサリーが付いています。

認知症マフの効果

マフに手を入れてみるとふんわり暖かく、安心感が得られます。認知症の方は手元が落ち着かず不安になる傾向があるため、マフの内側に付けたアクセサリーに触れることで気持ちが安定する効果が期待されます。

当院の取り組み

平成30年頃から日本でも朝日新聞文化事業団による認知症マフの普及活動が広まり、当院では令和3年12月から使用しています。使用者は1月現在で約120名となりました。

認知症で入院する方々は、点滴やカテーテルが気になって、自分で引き抜いてしまうことがあり、出血や治療が遅くなることにつながります。マフを使うことで点滴やカテーテルから注意をそらし、拘束具をつける時間を少しでも短くすることで、ストレスなく穏やかに過ごしてほしいとの想いから、認知症ケアの一環として取り入れています。マフの導入で、*ミトン型抑制帯をつけなくてもよくなった方や、退院後も継続して使用する方もいるなど、マフの効果が見られました。



認知症看護認定看護師の富樫です。



ボランティア活動の様子

2023年1月20日 ボランティアサークル「ちよボラ場」の活動の様子（藤島老人福祉センター）



* ミトン型抑制帯 手袋状のものに手を入れることで手の動きを制限するもの

ボランティア・有志の協力

認知症マフはすべて手作りで、院内の看護師や事務職員などの有志職員のほか、市内ボランティアサークルの皆様から提供していただいています。

これまで当院の認知症看護認定看護師の富樫が、鶴岡市ボランティアセンターや藤島地区ボランティアサークル「ちよボラ場」で講演し、マフの役割や製作時の注意点などを知っていただきました。「自分の認知症予防にもなる」と言ってマフの製作に熱中したり、編み方を互いに教え合ったりと、皆さん楽しそうに製作に励んでいます。カラフルな毛糸や装飾を作る側もほっこり温かい気持ちになります。

ワークショップの開催

ボランティアの輪は広がり、令和4年10月にニット作家の能勢マユミさんを講師に迎え、市内ホテルを会場に認知症マフのワークショップを開催しました。看護師や介護福祉士に加え、主婦や学生、手芸屋さんなど幅広い方面から約40名の参加があり、認知症マフへの関心の高さがうかがえます。

参加者の中には静岡県の高校教諭の方も。顧問を務めるボランティア部で生徒たちが認知症について知り、地域住民とつながるきっかけにするためにマフを製作しているそうです。認知症マフは認知症ケアとして役立つだけでなく、認知症への理解が

進み、製作活動による地域住民のコミュニティ形成、そして認知症の方を支える地域づくりに発展していくことが期待されます。

救急隊への贈呈

令和4年12月、鶴岡市消防本部で消防職員を対象に認知症マフの研修会を実施し、救急搬送時におけるマフの有用性を知っていただきました。

令和5年1月には、市内ボランティアサークルから救急隊に認知症マフが30個贈呈されました。鶴岡市のすべての救急車に認知症マフが搭載されます。救急隊で認知症マフを活用するのは県内初、国内では2例目です。

むすびに

海外の Forget Me Not（私をわすれないで）というプロジェクトのように、認知症マフの製作が認知症の患者さんをサポートするための幅広い活動の一環となり、この鶴岡市から老若男女問わず認知症の方々に優しい町づくりが発展し、持続することを願います。この活動が、マフを活用する人、作る人など、マフに携わる人々の双方の心が温まるきっかけになれば幸いです。

加茂水族館×荘内病院 コラボ事業始動！

ゆらゆら漂うクラゲに 癒されてみませんか？



市立加茂水族館との連携事業として、令和5年2月からクラゲの展示を開始！クラゲはヒーリングやリラクゼーション効果のある生き物です。見ているだけで自律神経が整いストレスが軽減されることが科学的にも証明されています。幻想的に漂うクラゲたちを見て、リラックスしてみたいはかがでしょうか？

●展示場所 当院1階中央ホール



▲富樫看護師が講師となり、消防職員を対象に研修会を実施。認知症マフの役割や活用方法などを学んでいただきました。



▲荘内病院にて、市内ボランティアサークルから救急隊に30個の認知症マフを贈呈。認知症の患者さんを救急搬送する際に活用するため、救急車に搭載されます。

荘内病院クラゲ展示
オリジナルキャラクター
「ヒボクラゲ」です

Topics – 当院からのお知らせ –

令和5年4月から便利なサービスがはじまります！

後払いの手続きで 会計の待ち時間がなくなります

後払いの手続きをしておくことで、外来受診後に次回の予約票等を受け取った後は、会計を待たずにお帰りいただけるようになります。

このサービスを利用するためには、スマートフォン専用のアプリから事前にクレジットカード情報の登録が必要となります。また、院内に設置する専用受付機からも登録できます。

領収書・明細書は、アプリやインターネットで確認・印刷できるほか、院内の専用端末でも印刷可能です。

なお、労務災害・交通事故で受診の方など、医療費後払いサービスを利用できない場合もあります。詳しくは医事課へお問い合わせください。

【問合せ】医事課計算係（内線 6120）

診察までの進行状況が スマホ等で確認できるようになります



当院のホームページで、外来受診の待ち状況を確認できるようになります。

このサービスは、受付を済ませれば、外来に設置されている案内表示板のモニターだけでなく、待合室を離れてもどこでも、ご自身のスマートフォン等で診察の進行状況を確認することができます。

※インターネット接続が必要です。

※受付時に発行される受付票に記載される受付番号をご確認ください。

※予約時間や診察状況等により順番が前後する場合があります。

【問合せ】医事課情報管理室（内線 6231）
総務課経営企画係（内線 6327）

医師修学資金貸与制度をご利用ください

当院に将来、医師として勤務いただける医学生に修学資金を貸与します。大学卒業後、一定期間を当院で勤務すれば貸与した資金の返還が免除されます。

●申込期間

令和5年4月3日⑧～5月31日⑧

●貸与金額

年額200万円以内



詳細はこちらから

【問合せ】総務課経営企画係（内線 6327）

共同購入による支出の抑制を進めています

令和4年4月から診療材料等の共同購入を開始しています。日本最大級の共同購入組織である（一社）日本ホスピタルアライアンスに参加し、スケールメリットによる購入単価の引き下げを実現しています。

共同購入によって支出を抑制し、高度良質な医療の安定提供に繋がります。

【問合せ】総務課用度係（内線 6326）

病院ボランティアを募集しています

当院では、正面玄関と1階ホールで受付機操作のお手伝いや病院の案内、車いす介助をしていただけるボランティアを募集しています。

現在60代から80代と幅広い年齢の方が活動しています。病院ボランティアは当院を利用する方と病院との橋渡しとなる大事な役割です。ぜひ一緒にボランティアをしてみませんか？

●資格や年齢制限：ありません。

●活動時間：平日の8時30分から11時50分（休憩時間30分）

●その他：ボランティア保険に加入します（病院負担）。

●興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

【問合せ】総務課庶務係（内線 6341）



「ヒポクラテスの木」といわれるプラタナスの葉がシンボルマークとして使われています。

鶴岡市立荘内病院 Tsuruoka Municipal Shonai Hospital

〒997-8515 山形県鶴岡市泉町4-20
TEL：0235-26-5111(代表) FAX：0235-26-5110
HP：https://www.shonai-hos.jp/

ホームページは
こちらから



SNS一覧は
こちらから

